

県民参加の新たな仕組み

令和8年(2026年)5月28日
企画振興部 広報・共創推進課
対話・共創推進係 片瀬、原田、宮本
電話:026-235-7110
FAX:026-235-7026
E-mail:kyoso@pref.nagano.lg.jp

提案を、県政の力に。

県民・企業等からのアイデアや知見を受け止め、2つの仕組みで様々な取組につなげます

01

県政参加

県民提案・投票制度
～信州みらいスイッチ～

県民等が事業を提案・投票
投票結果で、予算化を検討

ホームページはこちら→



02

共創

長野県共創デザインラボ

企業・団体等との共創を促進
提案を受け止め、担当課との
対話・具体化を後押し

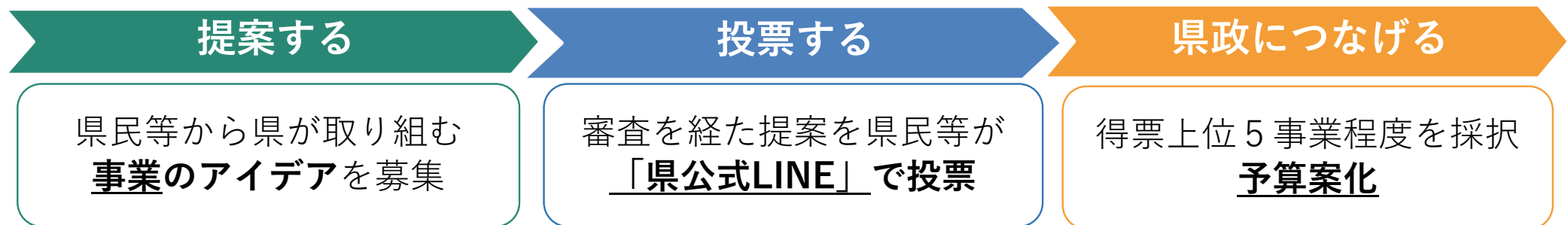
ホームページはこちら→



県政参加 × 共創で、多様な声を県の施策へ

- 目的
- ・ デジタルを活用し、県民等が県政に参加する機会を広げる
 - ・ 県民等の多様な視点やアイデアを県の事業に反映する

【制度の概要】



※採択に至らなかった提案も、ほかの施策等での活用を検討します

提案できる人

- ・ 県民、県内法人・団体
- ・ 県に愛着を持つ個人、法人、団体

投票できる人

県公式LINEに登録した
県民、県に愛着を持つ個人

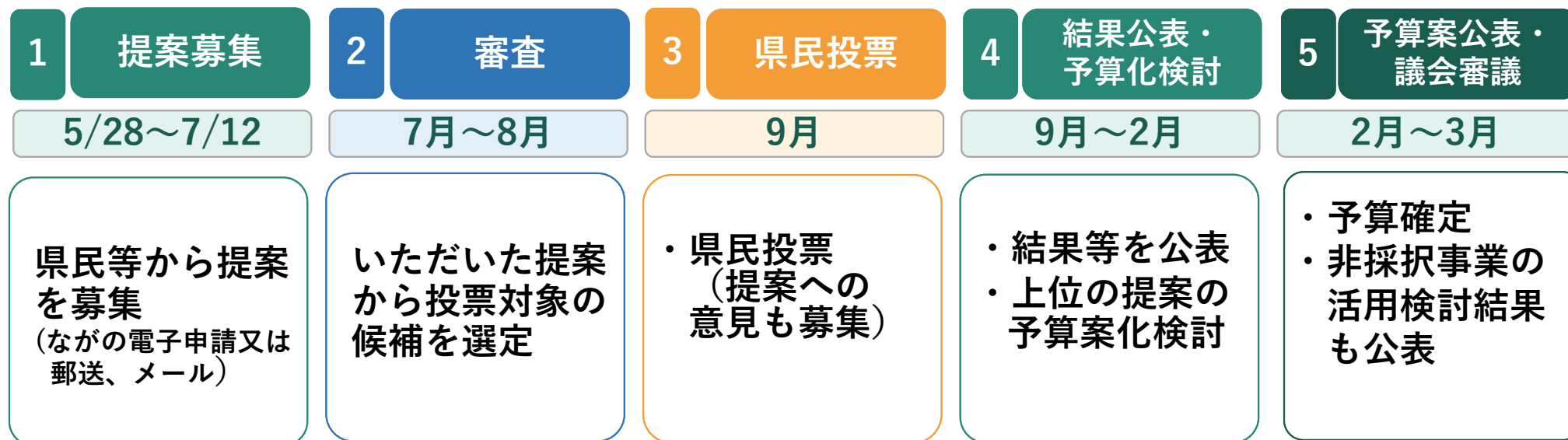
募集する提案

- ・ 1 事業概ね1,000万円以内で、単年度で完結する事業
- ・ 分野・内容は限定せず、一人でいくつでも提案可能
- ・ 発想の参考に、県から「テーマ例」を提示

【テーマ例】 ※具体例はホームページに掲載

- 若者・子どもが地域で暮らし続けたいとなる仕組みづくり
- 公共交通で出かけたくなる仕組みづくり
- 自然環境と安全・安心を守る地域づくり など

【スケジュール】



【審査と投票のポイント】

県による選定	県民による投票	対象外の提案
①対象外事業の確認 ②必要性・効果・実現可能性 などの評価 により投票候補を選定	・ 「やってほしい」 「共感する」提案事業に 県公式LINEから投票 ・ 一人3事業まで投票可能	・ 受益者が特定の個人、団体 に限られるもの ・ 政治・宗教に関するもの ・ 実現可能性が少ないもの ・ 既存事業と重複するもの などは対象外

多くの方のアイデアと投票が、長野県の未来を動かす**スイッチ**に！

県内外の企業・団体等からの共創提案を募集し、対話により様々な共創の取組につなぐ仕組み

- 企業・団体等の知見・技術を社会課題解決に活かせるよう、共創機会を広く創出する
- 予算を前提とした事業だけでなく、様々な共創の取組に繋がるよう後押しする

【ラボの4つの機能】

1 受け止める

「長野県との共創提案窓口」を
HP上に設置し共創提案を募集

2 つなぐ

関係各課とのマッチング実施
コーディネーターが伴走支援

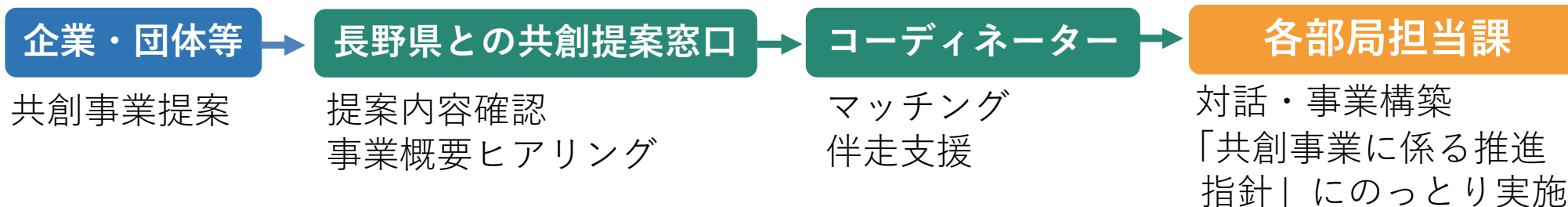
3 情報収集

協創/共創コンソーシアム point 0
に自治体として初めて参画
民間企業の知見を積極的に取り込む

4 事例共有・成果発信

企業等と事業担当課が一堂に会する
共創ネットワーク構築イベントや
職員研修を通じて共創マインドを醸成

【共創に向けた主な流れ】



共創に向けた様々な可能性を探り、具体化を支援します！